

令和3年5月26日

学生の皆さんへ

新型コロナウイルス変異株への対応について（第2報）

倉敷市立短期大学  
学長 安達励人

学内感染防止と水際対策の2つの観点から、本学の対応を次のように強化します。

○キャンパス内での感染の可能性をなくすための対策

1. 遠隔型授業を原則とします。

授業は、原則として遠隔型で行います。ただし、対面でなければ実施できない一部の授業については、できるだけハイフレックス型（対面型と遠隔型の同時実施）で開講します。当初の予定では、緊急事態宣言の期限は5月末となっていますが、現下の状況から、この措置を6月に入っても当面継続します。

2. 学生の入構を制限します。

学内への不要不急の立ち入りや滞在はできません。必要なことを済ませた後は、速やかに帰宅してください。

3. 基本を徹底します。

マスクの着用、手洗い、換気など、従来の感染防止対策の基本をさらに徹底します。

4. 部活動の禁止を継続します。

部活動やサークル活動、集団でのダンス等の活動、課外授業は引き続き禁止します。

○本学へのウイルス侵入の阻止（水際防御）

1. キャンパス外での危険な行動はしないように強くお願いします。

キャンパス外での行動が、家庭内・学校内での2次感染につながっています。キャンパス外でも、日中の不要不急の外出を含めた感染リスクの高い行動をしないようくれぐれも留意してください。

2. 基本の徹底を呼びかけます。

日々の健康づくりや健康観察、家庭内でのマスク着用など、キャンパス外でも感染防止対策の基本を徹底しましょう。

3. 「何かあったらまず連絡」を周知します。

体調不良や感染が疑われる場合（身近な人が濃厚接触者になった場合や、感染リスクの高い行為をした等）は、登校せずに学生部に連絡をください。